

四半期報告書

(第96期第3四半期)

自 2023年10月1日

至 2023年12月31日

SHIZUKI ELECTRIC CO., INC.
株式会社指月電機製作所

兵庫県西宮市大社町10番45号

目 次

| 表 紙 | 頁 |
|------------------------------------|----|
| 第一部 企業情報 | |
| 第1 企業の概況 | |
| 1 主要な経営指標等の推移 | 1 |
| 2 事業の内容 | 1 |
| 第2 事業の状況 | |
| 1 事業等のリスク | 2 |
| 2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 2 |
| 3 経営上の重要な契約等 | 3 |
| 第3 提出会社の状況 | |
| 1 株式等の状況 | |
| (1) 株式の総数等 | 3 |
| (2) 新株予約権等の状況 | 3 |
| (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 | 3 |
| (4) 発行済株式総数、資本金等の推移 | 3 |
| (5) 大株主の状況 | 3 |
| (6) 議決権の状況 | 4 |
| 2 役員の状況 | 4 |
| 第4 経理の状況 | 5 |
| 1 四半期連結財務諸表 | |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| 2 その他 | 15 |
| 第二部 提出会社の保証会社等の情報 | 15 |

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2024年2月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第96期第3四半期（自2023年10月1日 至2023年12月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社指月電機製作所 |
| 【英訳名】 | SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC. |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役・代表執行役社長 足達 信章 |
| 【本店の所在の場所】 | 兵庫県西宮市大社町10番45号 |
| 【電話番号】 | 0798（74）5821（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役・専務執行役・管理本部長・経営企画担当 大槻 正教 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区神田須田町1丁目1番地 |
| 【電話番号】 | 03（5289）8030（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 東京支社長 赤星 貢 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社指月電機製作所 東京支社 （東京都千代田区神田須田町1丁目1番地） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第95期 第3四半期 連結累計期間 | 第96期 第3四半期 連結累計期間 | 第95期 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日 | 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日 | 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 19,492 | 19,718 | 26,127 |
| 経常利益 (百万円) | 675 | 724 | 1,223 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円) | 384 | 199 | 760 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 607 | 656 | 1,091 |
| 純資産額 (百万円) | 25,253 | 22,549 | 25,737 |
| 総資産額 (百万円) | 35,807 | 35,213 | 38,117 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円) | 11.65 | 7.19 | 23.05 |
| 自己資本比率 (%) | 69.4 | 62.7 | 66.4 |

| 回次 | 第95期 第3四半期 連結会計期間 | 第96期 第3四半期 連結会計期間 |
|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 2022年10月1日 至 2022年12月31日 | 自 2023年10月1日 至 2023年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 5.85 | 3.92 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについては重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において判断したものであります。

(1)財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、経済活動の正常化が進んだことで緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、世界的な金融の引き締めや世界情勢の不安定化、素材やエネルギー価格の高止まりが依然として継続しており、先行きは不透明な状況となっております。

このような経済状況の中、当社グループの市場環境においては、x E V用コンデンサは客先の在庫調整等の影響により受注が低迷し、前年同期比で減収となりました。一方、インフラ設備向けの市場については、モータドライブ装置、太陽光用等の産業機器用コンデンサや力率改善装置を中心に好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比1.2%増加の19,718百万円となり、第3四半期連結累計期間としては、前年に引き続き過去最高を更新いたしました。

損益につきましては、素材価格の高騰に応じた製品の販売価格転嫁の進展等により、営業利益は752百万円（前年同期比50.2%の増加）となりました。これに伴い、経常利益は724百万円（前年同期比7.1%の増加）となったものの、第1四半期連結会計期間に資本政策の検討に伴うアドバイザー費用を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は199百万円（前年同期比48.1%の減少）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①コンデンサ・モジュール

産業機器用コンデンサはパワエレ市場を中心に伸長しましたが、x E V用コンデンサは客先からの受注が低迷しており、減収となりました。結果、売上高は前年同期比4.1%減少の13,912百万円となりました。

②電力機器システム

力率改善装置の売上が好調に推移した結果、売上高は前年同期比16.5%増加の5,805百万円となりました。

財政状態の分析は次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末における総資産は35,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,904百万円の減少となりました。増減の主なものは、現金及び預金の減少4,833百万円、受取手形及び売掛金の増加751百万円、電子記録債権の増加916百万円等であります。

負債は12,664百万円となり、前連結会計年度末に比べ284百万円の増加となりました。増減の主なものは、短期借入金の増加1,000百万円、未払法人税等の減少141百万円、賞与引当金の減少207百万円等であります。

純資産は22,549百万円となり、自己資本比率は62.7%と3.7ポイント減少いたしました。

(2)会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(3)経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4)優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、481百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数 (株) |
|------|--------------|
| 普通株式 | 128,503,000 |
| 計 | 128,503,000 |

② 【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在 発行数 (株) (2023年12月31日) | 提出日現在発行数 (株) (2024年2月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| 普通株式 | 33,061,003 | 33,061,003 | 東京証券取引所 スタンダード市場 | 単元株式数は 100株で あります。 |
| 計 | 33,061,003 | 33,061,003 | — | — |

(2) 【新株予約権等の状況】

① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金 増減額 (千円) | 資本金 残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|----------------------------|------------------------|-----------------------|--------------------|-------------------|----------------------|---------------------|
| 2023年10月1日 ～2023年12月31日 | — | 33,061 | — | 5,001,745 | — | 1,300,000 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2023年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

(2023年12月31日現在)

| 区分 | 株式数 (株) | 議決権の数 (個) | 内容 |
|--------------------|-----------------|-----------|--------------------|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式 (自己株式等) | — | — | — |
| 議決権制限株式 (その他) | — | — | — |
| 完全議決権株式 (自己株式等) | 普通株式 7,805,100 | — | — |
| 完全議決権株式 (その他) | 普通株式 25,225,100 | 252,251 | — |
| 単元未満株式 | 普通株式 30,803 | — | 一単元(100株) 未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 33,061,003 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 252,251 | — |

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の中には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数60個が含まれておりません。
2. 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式99株が含まれております。

② 【自己株式等】

(2023年12月31日現在)

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%) |
|------------|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------------------|
| ㈱指月電機製作所 | 兵庫県西宮市大社町 10番45号 | 7,805,100 | — | 7,805,100 | 23.61 |
| 計 | — | 7,805,100 | — | 7,805,100 | 23.61 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2023年10月1日から2023年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、ひびき監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,346,080 | 4,512,807 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,133,445 | ※ 7,885,105 |
| 電子記録債権 | 2,211,296 | ※ 3,127,670 |
| 商品及び製品 | 746,501 | 812,724 |
| 仕掛品 | 934,683 | 929,835 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,190,104 | 1,134,294 |
| その他 | 261,825 | 327,435 |
| 貸倒引当金 | △950 | △1,120 |
| 流動資産合計 | 21,822,988 | 18,728,753 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,646,548 | 4,503,431 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,004,138 | 2,946,837 |
| 土地 | 4,123,659 | 4,263,216 |
| 建設仮勘定 | 715,317 | 777,862 |
| その他（純額） | 353,874 | 311,438 |
| 有形固定資産合計 | 12,843,538 | 12,802,786 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 238,272 | 198,446 |
| その他 | 186,977 | 206,597 |
| 無形固定資産合計 | 425,250 | 405,043 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,707,625 | 1,957,001 |
| 長期貸付金 | 889,334 | 1,055,520 |
| 繰延税金資産 | 280,908 | 115,228 |
| 退職給付に係る資産 | 47,449 | 59,835 |
| その他 | 100,894 | 89,795 |
| 貸倒引当金 | △80 | △100 |
| 投資その他の資産合計 | 3,026,133 | 3,277,281 |
| 固定資産合計 | 16,294,922 | 16,485,110 |
| 資産合計 | 38,117,910 | 35,213,864 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,787,386 | 1,751,909 |
| 短期借入金 | - | 1,000,000 |
| 未払費用 | 519,479 | 668,122 |
| 未払法人税等 | 202,891 | 60,984 |
| 賞与引当金 | 431,818 | 224,656 |
| 役員賞与引当金 | 42,000 | 36,000 |
| 製品保証引当金 | 23,610 | 37,727 |
| その他 | 882,608 | 572,029 |
| 流動負債合計 | 3,889,794 | 4,351,428 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,500,000 | 1,500,000 |
| 長期借入金 | 5,300,000 | 5,100,000 |
| 長期末払費用 | 137,404 | 137,128 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,001,965 | 1,001,965 |
| 退職給付に係る負債 | 435,042 | 424,503 |
| その他 | 116,223 | 149,633 |
| 固定負債合計 | 8,490,635 | 8,313,230 |
| 負債合計 | 12,380,429 | 12,664,658 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,001,745 | 5,001,745 |
| 資本剰余金 | 4,276,006 | 4,276,006 |
| 利益剰余金 | 13,327,726 | 13,286,424 |
| 自己株式 | △21,559 | △3,620,947 |
| 株主資本合計 | 22,583,919 | 18,943,229 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 918,730 | 1,092,352 |
| 土地再評価差額金 | 1,971,993 | 1,971,993 |
| 為替換算調整勘定 | △260,589 | △16,380 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 107,543 | 86,714 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,737,677 | 3,134,679 |
| 非支配株主持分 | 415,883 | 471,296 |
| 純資産合計 | 25,737,480 | 22,549,205 |
| 負債純資産合計 | 38,117,910 | 35,213,864 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 19,492,918 | 19,718,346 |
| 売上原価 | 15,616,552 | 15,301,791 |
| 売上総利益 | 3,876,366 | 4,416,555 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び賃金 | 875,790 | 946,312 |
| 賞与引当金繰入額 | 65,143 | 60,838 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 28,000 | 36,000 |
| 製品保証引当金繰入額 | - | 14,117 |
| 退職給付費用 | 31,099 | 28,288 |
| その他 | 2,375,017 | 2,578,103 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,375,050 | 3,663,659 |
| 営業利益 | 501,316 | 752,896 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6,400 | 16,920 |
| 受取配当金 | 35,810 | 38,408 |
| 固定資産賃貸料 | 33,000 | 32,763 |
| 為替差益 | 29,478 | 40,686 |
| スクラップ売却益 | 183,170 | 148,814 |
| 売電収入 | 24,290 | 18,265 |
| 助成金収入 | 40,251 | 72,072 |
| その他 | 21,119 | 12,653 |
| 営業外収益合計 | 373,523 | 380,585 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,420 | 34,785 |
| 持分法による投資損失 | 139,388 | 251,619 |
| 債権売却損 | 1,750 | 5,477 |
| 売電費用 | 9,562 | 8,623 |
| その他 | 38,719 | 108,689 |
| 営業外費用合計 | 198,840 | 409,196 |
| 経常利益 | 675,998 | 724,285 |
| 特別損失 | | |
| アドバイザー費用 | - | 164,260 |
| 特別損失合計 | - | 164,260 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 675,998 | 560,025 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 195,915 | 199,218 |
| 法人税等調整額 | 88,631 | 125,123 |
| 法人税等合計 | 284,547 | 324,342 |
| 四半期純利益 | 391,451 | 235,682 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 7,149 | 36,235 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 384,301 | 199,447 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 391,451 | 235,682 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △133,171 | 173,622 |
| 為替換算調整勘定 | 363,350 | 268,129 |
| 退職給付に係る調整額 | △13,703 | △20,829 |
| その他の包括利益合計 | 216,475 | 420,922 |
| 四半期包括利益 | 607,926 | 656,604 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 587,979 | 596,449 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 19,947 | 60,155 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形等の金額は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|--------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | — | 10,161千円 |
| 電子記録債権 | — | 36,478 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 999,447千円 | 1,050,437千円 |

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|------------------|------------|------------|-------|
| 2022年5月13日 取締役会 | 普通株式 | 181,480 | 5.5 | 2022年3月31日 | 2022年6月9日 | 利益剰余金 |
| 2022年11月4日 取締役会 | 普通株式 | 131,985 | 4.0 | 2022年9月30日 | 2022年12月9日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|------------------|------------|-------------|-------|
| 2023年5月15日 取締役会 | 普通株式 | 164,981 | 5.0 | 2023年3月31日 | 2023年6月12日 | 利益剰余金 |
| 2023年11月7日 取締役会 | 普通株式 | 75,767 | 3.0 | 2023年9月30日 | 2023年12月15日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2023年6月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式7,740,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,599,100千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,620,947千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | コンデンサ・ モジュール | 電力機器 システム | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,510,848 | 4,982,070 | 19,492,918 | — | 19,492,918 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 14,510,848 | 4,982,070 | 19,492,918 | — | 19,492,918 |
| セグメント利益 | 867,920 | 1,085,370 | 1,953,290 | △1,451,974 | 501,316 |

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

| | 金額 |
|----------|------------|
| 全社費用 (注) | △1,451,974 |
| 合計 | △1,451,974 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | コンデンサ・ モジュール | 電力機器 システム | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,912,813 | 5,805,533 | 19,718,346 | — | 19,718,346 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 13,912,813 | 5,805,533 | 19,718,346 | — | 19,718,346 |
| セグメント利益 | 726,426 | 1,409,326 | 2,135,752 | △1,382,856 | 752,896 |

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

（単位：千円）

| | 金額 |
|----------|------------|
| 全社費用 (注) | △1,382,856 |
| 合計 | △1,382,856 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

| | | | 顧客との契約から 生じる収益 | その他の収益 | 外部顧客への売上高 |
|-------------|--|--------------|-------------------|--------|------------|
| 報告 セグメント | | 産業機器 | 6,180,798 | — | 6,180,798 |
| | | 自動車 x E V | 5,229,940 | — | 5,229,940 |
| | | その他 | 3,100,109 | — | 3,100,109 |
| | | コンデンサ・モジュール計 | 14,510,848 | — | 14,510,848 |
| | | 電力機器システム | 4,982,070 | — | 4,982,070 |
| | | 合計 | 19,492,918 | — | 19,492,918 |

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

| | | | 顧客との契約から 生じる収益 | その他の収益 | 外部顧客への売上高 |
|-------------|--|--------------|-------------------|--------|------------|
| 報告 セグメント | | 産業機器 | 6,960,736 | — | 6,960,736 |
| | | 自動車 x E V | 3,999,935 | — | 3,999,935 |
| | | その他 | 2,952,141 | — | 2,952,141 |
| | | コンデンサ・モジュール計 | 13,912,813 | — | 13,912,813 |
| | | 電力機器システム | 5,805,533 | — | 5,805,533 |
| | | 合計 | 19,718,346 | — | 19,718,346 |

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------------------------|--|--|
| 1 株当たり四半期純利益金額 | 11円65銭 | 7円19銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円) | 384,301 | 199,447 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円) | 384,301 | 199,447 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 32,996 | 27,732 |

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

2023年11月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………75,767千円

(ロ) 1株当たりの金額……………3円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………2023年12月15日

(注) 2023年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年2月13日

株式会社指月電機製作所

取締役会 御中

ひびき監査法人

大阪事務所

代表社員
業務執行社員

公認会計士

岡田博憲

業務執行社員

公認会計士

安富茉衣

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社指月電機製作所の2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2023年10月1日から2023年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社指月電機製作所及び連結子会社の2023年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における執行役及び取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。